夕刊 磐城新聞
十月十四日發行
（日曜祭日翌日休刊）

念佛

（下）

荒谷先峰

私は釋迦牟尼佛正傳の大法を相續して一箇寺の住持職にある。自分は、その檀信徒は自分の力で成佛させらるると信じてゐるが、亡密が自分の妻となると自分は一箇の人間にかへつて了ふのであるそれなれば、「自分の信ずる老師宿をたのんで葬儀をしたのであか、偽くゝ考へるのへりみて恥かしい次第である。

このやうな私に母が亡妻のことを「若いものが可哀さうに……南無阿陀佛、々々々々」といつてゐるのを聞くと、實に身にしみる思ひがするのである。まだ二誕生をすぎたばかりの幼兒まで、朝夕本堂のそばに來て、きちんと正座をし、見樣見眞似で合掌して「のんのさん、あ、あし」といひ、或は私の禮拜にならつて頭を疊にすりつけたり、讀經のやうに分らぬことをつぶやいてしやべつたりするのを見ると、愛らしいといふよりさきに、身にしみるものがあるのである。母は、勝手元で御飯をたきながら、食後お茶をのみながら、念佛を稱へてゐられる。私はそんな時に、自分も有難くなつて來る。母もその有難くなつた時に念佛をとなへられるのであらう

が、私は身にしみて目がしらを熱くしてゐるのである。かへりみて思へば、妻の死は私に宗我をとりのけさせて、念佛稱名に隨喜させるに至つた。私が曹洞宗寺院住職の立場を保持しつゝ念佛を喜ばれる自分をうれしく思ふ。まだ自分の口から自然に念佛が出ないが、やがて出る日が來るかも知れぬ。その時こそ自分に本當に生きた佛となるのである。今、私にひそかに「南無阿彌陀佛」といつて見るが、この「ひそかに」が頭についてはなれぬとそれ思ふのである

聽川原中央大學教授講演

珠雲 小野務平

學究和洋心眼新
辟邪後秀有斯人
歐州研獣論鋤誼
慷慨淋漓口舌振

10月15日
△錦帶橋竣功す（延寶元）△佛政界の元老ポアンカレ逝く年七十四（昭和九）△內閣參議官制公布十參議任命發令（昭和一二）

10月16日
△藤原鎌足薨ず（天智帝八）△易學家高島呑象逝く年八十三（大正三）

秋涼

大內規夫

○長雨の夏が終りて山明るし水きよらかにいづる岩陰のつや
○楡の葉の光うちかへす朝間に何かすがしき熱きもちながら
○熱さめて家にこもらふ秋の日の疊に[illegible]をおそろく
○雲の影峽に落ちて行くみればすみとほる風のあると思はむ
○勝ち墨のいろひつやめきのるみにば秋涼もすでにきたまりぬらし

その日〳〵

○
巢籠つて鳴く鳩の聲うら寒し宵の時雨がまた降りて來つ　角田光人

講談 振袖横町（55）

須藤鐘一 作　荻原萬象 畫

混亂（七）

一造は、口を尖らせて「この木刀の持主は、井の中の蛙だよと吐かしやしたぜ……」

「なんだ、井の中の蛙？」

「さうなんですよ。わつちなわ先生を褒めたんだよ用くたまんですから、その隠です、劍術の上手な先生だと言ひやすと——あつはつは……と笑ひやがつて井の中の蛙と云ふのだ、自分の身の廻りしか知らぬ馬鹿者のことだと云ひやがるんでげす。わつちも腹が立ちやござんせんか」

「その武士は、本所の甲州屋と云ふ木賃宿に泊つてゐるのですかな……」

「毎晩泊つてをります。嘘か本當か知らねえが、名前は横目長十郎とか言ふんださうで、朝は大てい遲くまで寢てゐますんで、八つ（午後二時頃）から出かけるやうで今行くとゐるんですが。」

「よし……それでは今から直ぐまゐりませう。一造さん案内してくれませんでせうかね。」

梅吉は突つ立つてゐた。

「先生！刀もお持ちにならないで、そのまゝお出でになるのでございますか？」

庄作は不安氣に聞く。

「刀はなくとも、木刀は在る、命を投げ出してゐるのでござる……。萬一の場合には先生が敵を討つまで……。一造さん、さ案內して下さい。」

「うちの先生は强いんだから、大丈夫で……どう端での立合ひなんか隨分面白うございました。御心配なんかしなさんすな……」

「兄さん、大丈夫でせうか知らいくら先生が强いたつて、刀も持たずに行つたんちや危なうございませう、わたし心配なんですの、兄さん、一緒に行つて下さいよ、先生が危うくなつたら遠くの方に居て、石でも投げてたやりなさいよ。わたしも一緒に行かうかしら……」

こつちや思へば向ふでも……。

梅吉が心ひそかに戀ひこがれ！ゐるおさちなのだ。その戀ひ心が彼女の胸にも感じてゐるのが、こんな場合になると、我が身を忘れて梅吉のことを心配するのであつた。

「——いや、助太刀は御無用に願ひ度い。それでは眞劍勝負にはならぬ。案內は一造さんにして下さるので、それでなくさんちや。庄作そなたは家業にせいを出し親御やおさちどのに安心をさせるがよい。思はず長居を致してしまうた。では、まゐります……。御免！」

「それぢや、先生樣、わちやあめえりません……」

大丈夫でございませうが、それでも油斷なくやつて下せえ、木刀を立派に取り戻しなすつたら、お祝ひを致します。どうか首尾よくやつてお與んなさいまし……」

「心配しなさんな！わつちがついてゐるんです！今度は二度目ですから、腰は拔かしません」

「一造さんはこの前は腰を拔かしてしまつたんですかい！賴りのないお附き人ですな——」

庄兵衛は、笑ひながらも氣づかはし氣に言つた。

おさちは、居ても立つてもゐられないやうな衝動を受けてゐた。

日頃はさまでに梅吉のことについて氣も掛けなかつたのであるがかうなつて見ると、我が身を殺しても梅吉さんを助けたくなる。

これ程あの人を好きだとは、私は思つてゐなかつたのだが。

おさちの心は、かうも動いて來てゐるのであつた。

「…お先生！お供します」

一造は、向ふ鉢卷で云つた。

天氣豫報

今晩 北の風晴
明日 北東の風晴一時曇

廣告

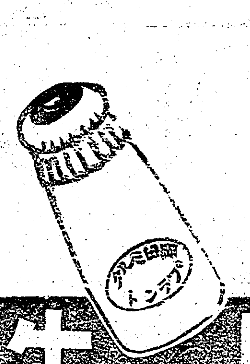
田毎の志るこぞうに
電話六三二番

毎度有難う御座います。
パン食普及の秋！
自慢の食パン 一斤十六錢
榮養パン 十五錢　バターロール 二錢五厘
甘コッペ 十錢　チョコレートロール 五錢
クリームロール 五錢　野菜サラダパン、カレーパン、カツパン
ベーカリー 東京堂
平市梅槌小路（電話一〇八番）

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平市田町（電話五八番）藤田女學校前
「入院のお需めに應ず」
（看護婦及び見習看護婦募集）
齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木□政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

職工及見習工募集
平市月見町
合資會社 佐藤鐵工所
電話三六二番

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社
代表者 强口唯七郎
自動車部 電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、


低溫殺菌
伸びよ太れよ牛乳飲んで
平市鎌田町 電話五一
岡田牛乳

平市田町（電話五三一番）
高久病院
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹留雄
（看護婦至急募集）

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森
電話三七〇番 振替仙臺一五一〇
〔藤森事務用器商會〕

御婚禮御着附
パーマネントウエーブ
洋和結髮 オゾン美顏術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髮洗毛
美爪術
平市驛前
水野化粧院
電話 六七八營業所 五二五自宅

國民精神總動員……
日本國民・必見の書……
內閣情報部發行
寫眞週報
（1部10セン）
…お取次致して居ります…
（平2）西村藥局（電3）

實用新案 第一八七四三〇號
意匠登錄 第六六一六七號
石山式
石綿ムシカマド
こんな經濟的な「かまど」は他にありません
安價な燃料で濟み、保溫力が强く堅牢で火の元絕對安全！、御使用に御便利な！石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、おすゝめ致したい新製品で御座います。

和洋銅物 金物問屋
平市五丁目
釜屋商店

秋 洋樂ハ
十月新譜レコードだより
ビクター
交響曲五番ベートウエン 一五、四〇
ウエバーアルバム 五、五〇
コロムビア
想出のダンスアルバム 九、九〇
軍隊交響曲ハイドン 一一、五五
流行歌デハ
コロムビア 純情二重奏 霧島
ビクター 馬と兵隊 楠木
ポリドール 築地明石町 東海林
ラヂオは ビクター コロムビア
金光堂時計店
電話一九五

吸入用酸素 純度99%
度量衡
モノサシ マス ハカリ
計量器
体温器 寒暖計
秤ノ取締 乘系・修繕シマス。
關內藥局
電話四〇番

加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多産種狸、フイッチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雉子家禽各種
平產業養狸組合事務所
乾產業會社畜產部
國策アンゴラ兎採毛協會
福島縣磐城種畜場
內郷村城（平市外）
出張所 平驛前 電六四八番
分讓所 東京市淀橋區下落合
藥品 榮養劑 飼料各種
◇北里研究所製
◇ジステンパー豫防液、
◇東亞製藥所製 綜合ビタミン劑
◇ヴイベリン末（動物わかもとの稱あり）
◇フイツシミール 榮養魚粉
病理研究、診療
榮養劑の配劑
飼育指導の需に應
擔任 獸醫師
技師

お醬油は……ヤマフ印
塩屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番）（本店二七番）
味噌 醬油
たひら正宗
鰹節 食品料
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

「働く母親」達の爲 隣保館實現近づく

『働く母親』達から待たれた市の隣保館も愈々具体化し市營幼稚園として子供の樂園が出來ることゝなつた

一日三錢位徴收か

これは市社會事業助成會の新事業で総工費約一萬圓、新川南の現授産所東部に敷地を定め目下方面委員によつて市内篤志家から寄附金を募集中であるが、既に仲間町建築士大井勇氏によつて設計も出來上り遲くも十二月末までには竣功の見通しがついてゐる

竣功後は市内出征遺家族を中心に『働く母親』の足手纒ひを收容、おやつ代として一日三錢乃至五錢程度を徴收する方針、との事で之によつて浮く現在一日三十錢位になつてゐる子供のあづけ賃を少くも五錢位のお小遣ひを幾分でも貯金させたい助成會の肚である

尚今後の維持に就ては助成會を最高年額十圓、最低一圓を納むる數種の會員組織としその會費で賄ふべく極力勸誘すると

業績は躍る片倉 配當依然年九分

磐城製絲の今期成績

片倉磐城製糸株式會社では昨十三日午前十時から重役會を開き貸借對照表、財産目錄、利益金處分等來る二十八日の總會に附議すべき諸項に就て協議したが、今期成績次の如く、法の認むる最大限の配當を敢行し尚は別途積立金及び原價銷却の計上乃至前期に倍する繰越金の増大等、一層銃後産業の堅實味を見せてゐる

當期利益金七七、九一六、六九錢、建物機械器具銷却一五、〇〇〇、〇〇差引純益六二、九二六、六九錢、前期繰越金二〇、七三六、九八錢、合計八三、六五三、六七錢

(處分内譯)法定積立金五、〇〇〇、〇〇 株主配當金二二、五〇〇、〇〇(年九分) 役員賞與金三、二二〇、〇〇 別途積立金一〇、〇〇〇、〇〇〇 後期繰越金四二、九三三、六七錢

平市會招集

平市會は既報の如く十八日午後一時招集左記諸件を附議

一、十四年度追加更正豫算 一、十四年度特別會計公益質屋歳入歳出追加更正豫算 一、規則改正 一、市有土地處分 一、寄附採納 一、區長及び區長代理者推薦 一、十三年度特別會計公益質屋歳入歳出決算報告 同年度特別會計基本財産歳入歳出決算報告

スケツチ行

十七日齊藤畫塾で

市内齊藤利彥氏の齊藤畫塾では體位向上を兼ね情操陶冶の目的で來る十七日神嘗祭を卜し綴驛前淺野記念館及び白水阿彌陀堂附近を會場とし第三回スケツチ歩き會を催すが既に内郷高坂、市内第二第三各小學校から三十餘名の參加豫約あり盛會を豫想されてゐる。參加費十錢、當日午前八時十一分平驛發である

水揚げ實に十萬尾

小名濱に秋刀魚景氣

小名濱港繋留の福津日丸は昨十三日夕秋刀魚漁から歸港し實に十萬尾の水揚げをしたが相場は一尾二錢五厘から四錢位でまた大衆向きの相場とはならず何れも京阪地方に向け輸送された

「銃後の秋」援護に 託兒所開設奬勵

縣から市町村に通牒

時局下における農村が勞力の不足から乳幼兒の上に屢々危險――不衛生なる事實があるのに鑑み縣當局は今や收穫の秋を迎へた農村が農繁期のために一層この弊害あることを豫想しこの環境から救濟し保育の適正を圖り父兄をして安心して銃後農産物増産の使命に邁進せしむる目的を以て秋季農繁期保育所を開設して農家の經濟保護と乳幼兒保護の双方を全からしむべく、殊に軍人傷病兵の家庭に對しては必要缺くべからざる援護施設なので春季と同樣縣下に農繁季保育所の開設を奬勵する事となり和田學務部長は市町村長、小學校長に對して急速に遺漏なく實施するやう通牒を發した

亡き勇士の 法要費節約

蛭田家の美擧

市内白銀町二藤浪電氣商會藤浪時康さんは元店員故輜重兵上等兵勳八等功七級蛭田浩君(上遠野村出身)の一周忌法要費を節約左の如く合計五十圓寄附した

市銃後奉公會へ三十圓、忠靈顯彰會へ十圓、白銀町青年團並に第三小學校設備費へ各五圓

防空群の模範訓練 實演

あす第三校庭で

平署では明十五日午後一時第三小學校で家庭防空群の模範的活動實演を行ふので市内家庭防空群長はつとめて見學されたいと、尚この實演は田町群が行ふ筈

市民の參加を望む

來月三日中央に呼應し 方部別に市民体育大會

來月三日、神宮國民体育大會に呼應し平市で開かれる地方大會の會場は左の如く決定、小學校會場に市民の參加を奬勵、ラヂオ放送によつて神宮遙拜、國民並に保健体操の外各種の競技を行ふ

三中等學校、四小學校、片倉青年學校、藤田、平陽明女學校、佑賢學舍、磐城青年學校

市内の少女ら哀れ

入試撤廢から來る受難 男子より遙かに深刻

男女中等學校入學の學科試驗撤廢が市街地農漁山村の小學校に全然等差を認めぬ結果比較的好成績の市街地兒童が非常に不利な立場に置かるる必然の歸趨に就ては最初、新制度に因る受驗準備の不必要を鵜呑み的に喜んだ一部父兄も、漸次這般の正認識が附くに從ひ、却つて反對に生じ來た深刻な不安におのゝいてゐる有樣であるが殊に該當の女子を持つ家庭では、磐中二百五十名、平商百五十名、それに目下計畫中の工業學校が假に百名を募集するとせば、採用合計五百名の多數に上るべき男女のそれに比しその半數たる二百五十名を而も標準を異にする各小學校の内申によつて及落を決定させることとなるので專門家以外には差當り所謂角を矯めて牛を殺す底の入試撤廢は市内の女兒に從來以上の受難を加重するものとして各方面の父兄を少からず憂欝ならしめてゐる

中等學校辯論大會

磐城中學校安齋智平(大浦)君は十五日福島高商で開かれる全國中等學校辯論大會に出演する

平市慶弔錄

△出生 田町一猪狩四郎氏二女佐智江さん、本籍才槌小路三一川部村三澤字堂平一五高橋留五郎氏三女正子さん、鯨岡字石名坂七七有坂治氏二男浩君、仲間町一〇磯野忠次氏三男公雄君、鯨岡字洞口二七松崎一氏長男武德君

○婚姻 中平窪字布川四六福田勝榮氏(二七)好間村大字愛谷字東内九木田ヤイ子さん(二三)

▲死亡 立町八七佐藤八四郎氏(八二)

防空群整備を急ぐ

第三次訓練近づく

今年度第三次防空訓練は既報の如く來る二十四日から一週間に亘り實施されるが家庭防空群は前回結成されたものを基準として目下市内各區でその陣容を整へて準備に忙しい

る、平署では十四、五の兩日開かれる警防團幹部講習會で本演習の趣旨を植ゑつける外講演映畫で『護れ大空』の觀念を强調すべく

植田地方 豚コレラ蔓延す

植田地方の豚コレラはさき頃來十四頭發生、飼育者間に恐慌を來してゐたが更に十三日縣から近藤農村技手及び齊藤家畜防疫員、犬塚坂本、黒澤等各家畜醫等が急行二百餘頭を檢診したところ更に十六頭を藥殺これと三十頭を數ふるに至つた爲引續き撲滅を期するため十四日より三日間全養豚に豫防注射を行ふ

郷軍會員に 功勞章

大日本在郷軍人會福島支部管下六十名の會員は此程多年の功勞により在郷軍人會長井上幾太郎大將から功勞章を授與され十三日支部から各分會へ送達された、地方關係左の如し

本間繁(平市南町)酒井銀

おどる天狗の胸

どこも有望地揃ひ 狩獵解禁愈あす

地方ハンター連待望の狩獵解禁は愈ゝ明十五日だ、この日を前にして獵區の偵察や愛犬、愛銃の手入れ等用意おさ／＼怠りなく滿を持して居た天狗連はそわ／＼とばかりに秋深き山野に突入するのだらうが地方に於ける有望地區は小名濱、草野村六十枚近邊、獵物のシギカモ等も順調な天候に惠まれてその發育素晴らしく天狗連の胸を高鳴らせてゐる

平署の免許狀下附數も既に四十八名に及び結局百二、三十名には上るだらうと見てゐる

尚十一月一日から解禁のキジ山鳥の獵區はやはり永戸澤渡方面の山間部でこれまた發育上々の情報が入つてゐる

陣中を聽く

(479)

非常時下の縣政に 御盡力を期待する

永戸村出身 草野晴男君(通信)

祝御當選 時下秋冷の候と相成り益々御健勝の段奉り賀上候長らく御無音平に御容赦下され度候。陳者此の度は三旬の政戰に於て定めし御つかれの御事と遠察申上候、本日一兄よりの航空の報に接し見事御當選の榮を得られ候由承り實に我が事の如く喜び早速亂筆にて失禮なるを顧みず御祝ひ狀申上げ奉るものに御座候。

尚は御社發行二十八日夕刊により貴會の歷史的成績不斷の德の致す處當然とは申せ民衆の裁斷も亦公平なることをつく／＼感じ申し候。

非常時局の縣政定めし期待以上のものと縣民は勿論出征男士も如何程か喜び居ることゝ信じ候。降つて小兵も其後相變らず元氣軍務に精勵致し居り候間御休心相成り度候。此上は名譽ある鄕黨の一員として出征致し居る以上必ず皆樣の御恩に報ひ奉るべく奉公の萬全を期し以て東亞和平の礎石たらん覺悟に有之候。

縣政參與の上は精々御身御自愛なされ御奮鬪あらん事をお祈り申し上げ御祝狀に代へると共に貴會の前途を祝福申上げ奉り候。

大張り切り

鈴木直孝君

初秋の候も相成り誠に凌ぎ良い季節となりました。中支もあんなに暑かつたのが滅切り涼しくなり朝などは特に肌寒さを覺ゑます

其後御家内皆樣にはお變りありませんか。あの節はお暑い處態々こんな山奥迄御慰問下されまして御苦勞樣でした。途中恙く御歸りなされたでせうか、此度は當隊も〇〇攻擊の大命下り出動致します。

大分涼しくなりました、若い連中ばかりの當隊大張り切りです。

新十月十五日 日曜　舊九月三日　乙酉　大安　閉　房宿

▲一白 巡り來れる幸運逸せざる樣に努力あるべし▲二黒 蹉跌を生じ易き日愼ろべく内を守るべし▲三碧 迷雲眼前に横たはりて行く手の定まらざる日▲四綠 氣心に落付きを生じ來る日急がば廻るべし▲五黄 行違ひの生じ易き日何事も手控するが安全▲六白 其の位置に安んじ日課を怠らぬ樣にすべし▲七赤 小を得て大を失ひ易し進むより守るが無事▲八白 知つた振より不なれの事を持込まれ難儀する日▲九紫 張り合ひよく事業の進み行く日但し飲食注意

新十月十六日 月曜　舊九月四日　丙戌　赤口　建　心宿

▲一白 人の爲めに努して却て怨みを受くる注意日▲二黒 獨斷專行に誤りを生じ易し目上に聞て吉し▲三碧 運途壯んに見へても實益には稀薄し金錢凶▲四綠 誠意を盡しても先方では其丈に認めざる日▲五黄 進んで事を謀る時はてきを求むる事あり注意▲六白 氣をくさらさず本業大切に守れば吉日となる▲七赤 何事も徐々進みて秩序あるに吉入學尤吉▲八白 前途の見込みに迷ひを生ずる日飲食も注意▲九紫 運氣上吉にて少しは無理と思ひし事もとほる

十五日【小名濱測候所觀測】 滿潮 前四、二五 後三、三〇 干潮 前九、五五 後一〇、三五

十六日 滿潮 前五、一五 後四、〇〇 干潮 前一〇、二二 後一一、二五

磐城名物 靈峰羊羹 小川郷驛前 平屋賣店

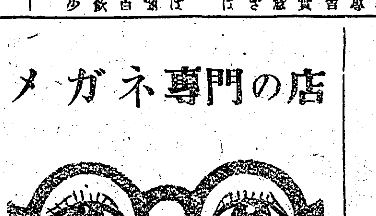
實株は買ツテ御手元へ 必ヅ儲カル優良株 投資指針 ●目下投資時代 平市四丁目三十三 富岡株式店 電話一九一

病室・手術室完備 産科 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二 (物理療法科併置) (入院隨時) 平市新川町(電話三六九番)

晝夜診療 外科一般 内臓外科 レントゲン科 泌尿器科 北川外科 血液檢査毎日 ◎入院隨時 平市新川町(電四六四) 醫學博士 北川芳夫

新車のお知らせ 斷然!!! 乘心地良い!!! 最新型フォード 入車いたしました。是非! 御試乘の程を! 市内四丁目 スヾキタクシー 電二一七番

メガネ專門の店



メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい………… 平市本町二丁目 玉屋

故障の起らぬ 原口のラヂオ 原口無線電機株式會社代理店 古山電氣商會 平市二丁目(警察署通り) 電話(呼出) 166

銘木(床ノ間材) 天井板、ベニヤ板買ふなら確かに御期待に添ふ良品廉價の 織田材木商店へ 福島縣平市 電話平四六〇番 營業目錄 建築木材一式 銘木・ベニヤ板 秋田產杉四分板 建具材・便利瓦 一變せる勉强振りを、ぜひ一度お試しなさい ●小店員募集 年齡十五歲ヨリ廿歲迄